

(令和4年度の重点的取り組み)

四万十市立西土佐中学校

学校教育目標

『心豊かに主体的に生きる生徒の育成』 ～西中魂の伝承～

※《西中魂》とは「伝統的な挨拶を行う」「積極的な行動をとる」「何事も全力でやりきる」

【めざす学校像】

西土佐地域は保育所・小学校・中学校・高等学校（各1）が連携・協働し『チーム西土佐』として地域に根ざした教育活動を実践し、地域・故郷を誇りに思う人材を育てるとともに、生徒に『知徳体のバランスが取れた生きる力』の育成を目指しています。

【本校の研究主題】

《 自ら学び、かかわり合い、自分の思いを表現できる生徒の育成 》

～ 情報活用能力の育成を見据えた探究のプロセスを通して ～

【本校の学力向上を目的とした授業改善の取組】

全体	『理由や根拠を明確にして自分の考えを表現する場面』の設定	『家庭学習・帯時間とつながる、基礎的基本的な知識・技能を習得し活用する場面』の設定
国語	相手意識・目的意識をもたせた課題設定を行い、根拠を明確にした表現の場面を設ける。	家庭学習と連動した漢字や語句等の基礎基本の学習・活用の継続と定着。
数学	数学班を作成し、授業を展開することで自分の考えを表現・説明する場面を多く設定する。その中で、よりよい表現や数学用語を用いて説明させる。	授業中に定期的に扱った問題や宿題の内容で小テスト⇒知識・技能の定着。単元ごとに数学班を計画的に編成し、生徒自身で自力解決の場面設定。
理科	ペア、グループ活動で根拠を持って話し合いに参加できるよう、個人思考の時間を確保。また、相手に伝える表現方法を工夫させる。	身近な題材を活用して家庭でできる実験と、家庭学習プリントによる授業内容や専門用語の基礎力の定着等予習を行い、授業導入時に共有・教え合いを行い定着を図る。
社会	統計資料等の読み取りを多くし、見方・考え方のポイントを押さえた個人思考をさせ、意見交流で相互評価を行いクリティカルシンキングの意識を高める。	ノートづくり・授業プリントを活用し、予習⇒授業⇒復習を確立し、小テスト・ワークで反復練習することにより理解の定着。
英語	ペア、グループ活動で意見交換の場面を設定。ゴール活動やパフォーマンステストの状況設定を意識し言語活動を設定する。	家庭学習・帯時間と繋げ、基礎・基本的な知識・技能の習得・活用の場面の設定。

【地域の特色とともに歩む学力向上の取組～レッツ チャレンジ 西土佐っ子！！～】

西土佐小学校との共通テーマ「**レッツ チャレンジ 西土佐っ子**」

～西土佐を愛し、自分の思いをもって行動する子どもの育成～

昨年度より、『中山間地域における学校づくり推進事業』の研究指定を受け、生活科、総合的な学習の時間を柱に、西土佐地域の特色ある地域資源を生かすとともに、教科等横断的且つ小中9年間を見通した系統性のある計画のもと、以下の取り組みを中心に研究実践を進めています。

1. 情報活用能力の育成

2. 西土佐地域の特色ある地域資源「ひと」「もの」「こと」を活かした体験活動等

3. 子どもたち自らが課題を見つけ、情報収集や情報分析等をおこない、自分たちの思いを発信する探究のプロセス

これらを通して、主体性を育むとともに、自信をもって自分の思いや考えを表現できる力を身につけることを目指しています。